



## “身近な困難事例”から 地域で活躍する支援者の役割を知ろう！ ～ 地域での支援の輪を広げましょう ～



地域包括ケアの推進は、医療・介護の専門職の連携だけでは完結できません。特に“よく遭遇する困難事例”は、地域の支援者との連携が重要になります。退院時や在宅の場において、看護職が地域の支援者の役割を知り連携することは、地域共生社会づくりの一環です。地域の支援者と効果的に連携・協働し、地域での支援の輪が広がることを目的に、交流会を開催します。“身近な困難事例”から、地域での課題を共有し、地域包括ケア、地域共生社会づくりについて考える機会にしてみませんか？

対 象	看護職、地域で活躍する医療職・介護職・福祉職等
開催日時	令和 3年 11月 27日 (土) 13時00分～16時00分
参加方法	オンラインでの参加 (Zoom)
参加費用	無 料 定員 80名
内 容	<p>【第1部】 パネルディスカッション (13:00～14:30) 「身近な困難事例から地域で活躍する支援者の役割を知ろう！」 座長 林 祐介氏 (同朋大学社会福祉学部 准教授)</p> <p>(1)「医療機関から地域生活へつなぐケースワーカーの活動」 竹野 大介氏 (中京病院地域医療連携・相談室 医療ソーシャルワーカー)</p> <p>(2)「地域生活を支える地域包括支援センターの支援」 小林 真矢氏 (東浦町高齢者相談支援センター 主任介護支援専門員・看護師)</p> <p>(3)「地域生活を支える身近な存在としての民生委員の活動」 羽谷 周治氏 (刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会会長)</p> <p>(4)「事例に寄り添う保健所保健師の活動」 三原 亜矢巳氏 (愛知県清須保健所こころの健康推進グループ 保健師)</p> <p>【第2部】 交流会 (グループワーク) (14:30～16:00) 「地域の支援者の役割を知って、明日からの現場に活かすには…」 司会 林 祐介氏</p>

申込方法 事前申込み必要  
10月31日までに URL 又は QR コードから入りお申込みください  
URL: <https://www.aichi-kangokyokai.or.jp/publics/index/451>



グループワークを行いますので、各人1台のパソコン、モバイル等をご準備ください  
(受講の可否は受講不可の場合のみご連絡します。受講決定通知は発行しません)

お問合せ 公益社団法人 愛知県看護協会 総務課事業担当 電話 052-871-0711